

第7回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 理事会

日 時：平成24年6月21日（木）午前7時
30分～8時20分

場 所：岡山全日空ホテル1階 曲水

出席者：氷見（理事長），荒川，宇佐美，小林，坂田，阪本，鈴鹿，鈴木，高瀬，長井，中川，西崎，増田，峯田，守本，山嵜（理事），大越，佐野（監事），市村，川城（顧問），安達，香山，深美，福島（幹事）
（50音順，敬称略）

(1) 氷見徹夫理事長挨拶

氷見理事長より本大会開催にあたって挨拶が述べられた。

(2) 西崎和則第7回会長挨拶

西崎和則第7回会長より，開催にあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

(3) 平成23年度事業報告（庶務：守本理事）

〔平成23年5月1日-平成24年4月30日〕

- 1) 第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成23年6月16日-17日の2日間，パレスホテル大宮において飯野ゆき子会長のもとに開催した。
- 2) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年に群馬大学小児科 荒川浩一会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年に浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 峯田周幸会長のもとに開催することが決定した。
- 4) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第32巻2号，3号，および第33巻1号を刊行した。
- 5) 会誌1980年創刊号～2008年度29巻3号のJ-Stageへのアーカイブ化作業を行った。
- 6) 理事会および評議員会を平成23年6

月16日に開催した。

- 7) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 8) 日本小児耳鼻咽喉科学会の役員改選を行った。
- 9) 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集があり，協力した。
- (4) 平成23年度決算報告（会計：小林理事）
小林会計担当理事より，決算報告，資産の説明があった。
- (5) 会計監査報告（監事：大越，佐野監事）
平成24年6月9日に小宮山印刷において監査が行われ，適正であったことが報告された。
以上決算が承認された。
- (6) 平成24年度事業計画（案）（庶務：守本理事）
〔平成24年5月1日-平成25年4月30日〕
- 1) 第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月21日-22日の2日間，岡山大学大学院西崎和則会長のもとに開催する。
- 2) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年に群馬大学小児科荒川浩一会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成25年6月20日-21日，会場は，前橋テルサ（前橋市）である。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第33巻2号，3号，および第34巻1号を刊行する。
- 4) 理事会および評議員会を平成24年6月21日に開催する。
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。
- 6) ホームページの維持，充実をはかる。
- 7) J-Stageでの論文の電子化公開を検討

する。

(7) 平成24年度予算(案)(会計:小林理事)

平成24年度予算案について報告があり、承認された。

(8) 委員会報告

1) 学会誌編集委員会報告(委員長:鈴木理事)

① 会誌の電子ジャーナル化

無償電子ジャーナル化がJ-Stageで認められたことにより、創刊号の1980年度から2008年度までは無償アーカイブ化した。2009年度以降は有償となるため、今後全ての会誌を電子ジャーナル化していくのが議案として提案された。概算では1回18万円、年間で約57万円かかるが、紙媒体であれば425万円かかるためかなりの経費削減となる。しかし、電子ジャーナル化に伴い、閲覧制限や他委員会との関連についても今後検討していく必要があることが報告された。

② 査読者への謝礼

査読を依頼した先生への謝礼を検討していることが提案され、承認された。

2) ホームページ委員会(委員長:坂田理事)

ホームページを今後刷新する案が提案され、承認された。

3) 保険医療委員会(委員長:峯田理事)

プロプラノロール、スポンゼルの適応拡大に関し、厚労省から書面の体裁を変えるように指示があり、書面を変えて提出したことが述べられた。

4) 庶務報告(守本理事):

平成24年6月13日現在

名誉会員2名

正会員1020名(うちH23年度入会者125名)

団体会員10名

購読会員6名

寄贈会員5名

(9) その他(氷見理事長)

• インフルエンザ菌抗原キットの要望書について

大塚製薬が開発したインフルエンザ菌抗原キットで、保険適応したいという要望書を小児科の学会とともに提出することを提案され、承認された。

• 理事会メーリングリスト

本学会は多領域の先生も入っているため定期的な会合は物理的に難しいため、メーリングリストを使って活発に進めていくことを提案され、了承された。

(10) 第10回総会・学術講演会の会長選出の件

氷見理事長より、信州大学耳鼻咽喉科 宇佐美真一教授が推薦され、承認された。

(11) 評議員の推薦、幹事の交代(氷見理事長)
評議員の推薦:安達のどか先生(埼玉県立小児医療センター耳鼻科)

小川 郁教授(慶応大学耳鼻咽喉科)

高橋 晴雄教授(長崎大学耳鼻咽喉科)

竹内 正人先生(東京大学小児科)

二藤 隆春先生(東京大学耳鼻咽喉科)

横山 純吉准教授(順天堂大学耳鼻咽喉科)

以上6名が推薦され、承認された。

幹事の交替:佐々木祐佳子幹事より退任の申し出があり、新幹事に千葉県こども病院の有本友季子先生が推薦された。

(12) 第8回総会・学術講演会 荒川浩一会長挨拶

平成25年6月20日(木)、21日(金)の2日間、前橋テルサで開催することが説明された。

理事長:氷見徹夫

庶務担当:守本倫子

幹事:有本友季子

香山智佳子

(文責)深美 悟

第7回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 評議員会

日 時：平成24年6月21日（木）午前8時
30分～9時20分

場 所：岡山コンベンションセンター301会議室

出席者：(50音順, 敬称略)

氷見(理事長), 荒川, 宇佐美, 小林, 坂田, 阪本, 鈴鹿, 鈴木, 高瀬, 長井, 中川, 西崎, 増田, 峯田, 守本, 山嵜(理事), 大越, 佐野(監事), 市村, 川城(顧問), 愛場, 飯野, 井口, 伊藤(真), 小河原, 奥中, 川崎, 工藤, 阪上, 笹村, 佐藤, 鈴木(賢), 泰地, 竹内, 武田, 千田(い), 寺本, 仲野, 林, 益田, 松谷, 宮崎, 望月(高), 望月(博), 家根, 米倉, 余田(評議員), 安達, 香山, 深美, 福島(幹事)

(1) 氷見徹夫理事長挨拶

氷見理事長より, 本大会開催にあたって挨拶が述べられた。

(2) 西崎和則会長挨拶

西崎和則第7回会長より, 協力・支援に対する謝意が述べられた。

(3) 平成23年度事業報告(庶務:守本理事)

[平成23年5月1日-平成24年4月30日]

- 1) 第6回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成23年6月16日-17日の2日間, パレスホテル大宮において飯野ゆき子会長のもとに開催した。
- 2) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年に群馬大学小児科 荒川浩一会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年に浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 峯田周幸会長のもとに開催することが決定した。
- 4) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第32巻2号, 3号, および第33巻1号を刊行した。
- 5) 会誌1980年創刊号～2008年度29巻3

号のJ-Stageへのアーカイブ化作業を行った。

- 6) 理事会および評議員会を平成23年6月16日に開催した。
- 7) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 8) 日本小児耳鼻咽喉科学会の役員改選を行った。
- 9) 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集があり, 協力した。
- (4) 平成23年度決算報告(会計:小林理事) 小林会計担当理事より, 決算報告, 資産の説明があった。
- (5) 会計監査報告(監事:大越, 佐野監事) 平成24年6月9日に小宮山印刷において監査が行われ, 適正であったことが報告された。以上決算が承認された。
- (6) 平成24年度事業計画(案)(庶務:守本理事)
(平成24年5月1日-平成25年4月30日)

- 1) 第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月21日-22日の2日間, 岡山大学大学院西崎和則会長のもとに開催する。
- 2) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年に群馬大学小児科荒川浩一会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成25年6月20日-21日, 会場は, 前橋テルサ(前橋市)である。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第33巻2号, 3号, および第34巻1号を刊行する。
- 4) 理事会および評議員会を平成24年6月21日に開催する。
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。
- 6) ホームページの維持, 充実をはかる。
- 7) J-Stageでの論文の電子化公開を検討する。

(7) 平成24年度予算(案)(会計:小林理事)
平成24年度予算案について報告があり,承認された。

(8) 委員会報告

1) 学会誌編集委員会報告(委員長:鈴木理事)

① 会誌の電子ジャーナル化

2008年度までの無償電子ジャーナル化がJ-Stageから認められたことが報告された。2009年度以降は有償となり,年間概算で18万円,2009年以降33巻2号まで合計概算で57万円かかる見込みであるが,今後電子ジャーナル化を進めていくことが提案された。以上承認された。

② 査読を依頼した先生への謝礼を検討していることが提案された。以上承認された。

2) ホームページ委員会(委員長:坂田理事)

ホームページを今後刷新する案が提案され,承認された。

3) 保険医療委員会(委員長:峯田理事)
プロプラノロール,スポンゼルの適応拡大に関し,厚労省から書面の体裁を変えるように指示があり,書面を変えて提出したことが述べられた。

4) 庶務報告(守本理事)

平成24年6月13日現在

名誉会員2名

正会員1020名(うちH23年度入会者125名)

団体会員10名

購読会員6名

寄贈会員5名

(9) その他(氷見理事長)

インフルエンザ菌抗原キットの要望書について

大塚製薬が開発したインフルエンザ菌抗原キットで,保険適応したいという要望書を小児科の学会とともに提出することを提案さ

れ,承認された。

(10) 第10回総会・学術講演会の会長選出の件
氷見理事長より,信州大学耳鼻咽喉科の宇佐美真一教授が推薦され,承認された。

宇佐美理事より開催にあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

(11) 評議員の推薦,幹事の交替(氷見理事長)
評議員の推薦:安達のどか先生(埼玉県立小児医療センター耳鼻科)

小川 郁教授(慶応大学耳鼻咽喉科)

高橋 晴雄教授(長崎大学耳鼻咽喉科)

竹内 正人先生(東京大学小児科)

二藤 隆春先生(東京大学耳鼻咽喉科)

横山 純吉准教授(順天堂大学耳鼻咽喉科)

以上6名が推薦され,承認された。

幹事の交替:佐々木祐佳子幹事より退任の申し出があり,新幹事に千葉県こども病院の有本友季子先生が推薦された。

(12) 第8回総会・学術講演会 荒川浩一会長挨拶

平成25年6月20日(木),21日(金)の2日間,前橋テルサで開催することが説明された。

(13) 第9回総会・学術講演会 峯田周幸会長挨拶

平成26年6月19日(木),20日(金)に浜松コンベンションセンターで開催予定と報告された。

(14) ESPO 報告(飯野評議員)

平成24年5月にアムステルダムで開催されたESPOに参加し,日本からの参加者は前回よりも少なかったが,学会は非常に盛会であったことが報告された。2年後はダブリン,4年後はリスボンで開催される予定であり,次回の多くの参加を呼びかけられた。

理事長:氷見 徹夫

庶務担当:守本 倫子

幹事:有本友季子

香山智佳子

(文責) 深美 悟